

第1回 大垣市緑化審議会

議題：平成27年度 みどりの行動計画について

| | |
|---------------------------|-----------------------|
| 日時：平成27年7月16日 15:00~16:30 | 場所：大垣市役所本庁舎2階 第1会議室 |
| 出席者：学識経験を有するもの | 森 誠一 |
| 公共団体、各種団体及び工場等の代表者 | 内木 一久、名和 哲彦、安田 忠邦 |
| | 國枝 重一、坂 忠男、後藤 育男 |
| | 社本 高司 |
| 公募した市民 | 脇坂 芳彦 |
| 事務局 | 広瀬副市長、田中部長、高橋課長、長谷川主幹 |
| | 窪田主幹、子林主査、岡部 |

議事録内容 (1/9)

【事務局：都市施設課長】

たいへんお待たせをいたしました。

ただいまから、平成27年度第1回大垣市緑化審議会を開催させていただきます。

本日の司会を務めさせていただきます、都市施設課長の高橋でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、柳沢 直（やなぎさわ なお） 委員

窪田 一久（くぼた かずひさ）委員

成瀬 重雄（なるせ しげお） 委員

西脇 史雄（にしわき ふみお）委員の4名がご都合によりご欠席でございますが、委員さんの

2分の1以上のご出席をいただいておりますので、大垣市緑化審議会規程第4条第2項の規定によりまして、会議が成立いたしておりますことをご報告申し上げます。□

委員の皆様へは本来であれば、お一人お一人に依頼状をお渡しさせていただくのが、本意ではございますが、時間の都合により簡略化させていただき、お手元に依頼状をお配りさせていただいております。

任期につきましては平成29年6月30日までとなっております。

何かとお世話になりますが、よろしくお願い申し上げます。皆様のご紹介につきましては、お手元にお配りしてございます名簿をもちまして、ご紹介に代えさせていただきたいと存じます。また、座席表をお配りしておりますので、併せてご活用ください。

本日は、市長が公務のため欠席でございますので、代わりに副市長からご挨拶を申し上げます。□

【事務局：広瀬副市長】

本日は、平成27年度の第1回大垣市緑化審議会を開催いたしましたところ、何かとお忙しいなか、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。また皆様方には、委員の職を快くお引き受けいただきまして、誠にありがとうございます。

平成29年6月30日まで約2年間、たいへんお世話になりますがよろしくお願い申し上げます。

本市におきましては、「大垣すみどりの基本計画」に基づき、毎年度、時代のニーズを敏感に捉え、さまざまな緑化施策に取り組んでいるところでございます。

平成25年3月に、社会情勢の変化に加え、市の重点プロジェクトであります「安全・安心」「子育て日本一」など様々な視点から、新たな指標や目標を設定し、計画の改訂をさせていただき、現在、様々な施策を展開しているところであります。

本日は、平成26年度の「みどりの行動計画」の実績並びに評価についてご報告をさせていただくとともに、平成27年度の「みどりの行動計画（案）」についてご審議をいただくことになっております。

委員の皆様には、その豊富な知識と経験から、忌憚のないご意見、ご指導をいただき、適切にご審議を賜りますようお願い申し上げます、あいさついたします。どうぞよろしくお願いいたします。□

議事録内容 (2/9)

【事務局：都市施設課長】

なお、ここで副市長は公務により退席させていただきますので、よろしくお願いたします。

本年度1回目の審議会でございますので、お手元の資料1の「会長、副会長の選任について」を皆様をお願いしたいと思います。それでは、いかが取り計ればよろしいか、お諮りしたいと思います。□

【國枝委員】

会長には、森委員さん、副会長には、連合自治会長の名和委員さんを推薦します。

【事務局：都市施設課長】

ただいま、「会長に森委員さん、副会長に名和委員さん」というご推薦がございましたが、他にご意見ございませんか。
(意見なし)

他にご意見はございませんので、会長に 森 委員さん、副会長に 名和委員さんでよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、異議なしということでございますので、会長に森委員さん、副会長に名和委員さんと決定させていただきます。それでは早速で誠に申し訳ありませんが、森会長さんから、ご挨拶を賜りたいと存じますので、よろしくお願いたします。

【森会長】

ただいま皆様方からご推薦いただきました森誠一でございます。委員の中にはすでにお見知り置きの方は多々ございますが、今後ともご指導のほどお願いたします。

今世紀は環境の世紀と言われており、急速に悪化している地球環境の改善には緑化は大変重要な役割を担っている。緑化には都市緑化、乾燥地の緑化のほか、生態系保存のための緑化など多くの課題がある。そのなか大垣が行う緑の活動は地球規模から言えば小さな取り組みであるが、地方から行う活動としては大きな意義がある。

水都大垣は水の豊かな街として栄えてきた。多くの山林を抱える地域として多くの場を今後活用し、緑の質も高めながら安心安全を課題に今後も貢献していきたい。

今年度は10月に揖斐川町にて第39回全国育樹祭も控えており、大垣市では9月に引き継ぎ式がある。今まで以上に皆様のご理解を得て邁進していきたい。

【事務局：都市施設課長】

ありがとうございました。

これよりの議事は大垣緑化審議会規程第4条第1項によりまして、会長が審議会の議長となります。それでは、森会長さん議事の進行をよろしくお願いたします。

【森会長】

それでは、議事を進行させていただきます。まず始めに、本日の議事録署名者でございますが、

國枝 重一（くにえだ じゅういち）委員さん

後藤 育男（ごとう いくお）委員さんのお二人にお願いたします。

本日の審議会の傍聴希望ですが、傍聴希望者はございません。□

続きまして、報告事項「平成26年度みどりの行動計画実績及び評価報告について」事務局より説明をお願いたします。

【事務局：長谷川主幹】

それでは、「平成26年度みどりの行動計画実績及び評価報告について」ご説明させていただきます。失礼して、座ってご説明をさせていただきます。

資料2をご覧ください。実績報告をさせていただく前に、「みどりの基本計画」の施策の体系について若干の説明をさせていただきます。

資料2の表紙をめくっていただいて「大垣市みどりの基本計画」における、「水とみどり」の将来像と施策展開の目標をあげさせていただきます。

「水とみどり」がいぶくまち をキャッチフレーズに、基本方針として、

議事録内容 (3/9)

方針①豊かな「みどり」が実感できる環境を守り、快適・安全な空間をつくる。

方針②「水とみどり」の拠点をつくり、様々な市民活動の場として活かし、学び広める。

方針③里地里山の広大な「みどり」を守り、営みを学び広め、資源を活かす。

これらの方針に基づき、施策展開の目標として、4つの大きな柱がございます。1つ目に「水とみどり」を守る。2つ目に「水とみどり」をつくる。3つ目に「水とみどり」を活かす。4つ目に「水とみどり」を学び、広める でございます。これら4つの目標にそれぞれ具体的な指標を定め、その実績を評価したものが次のページからの資料になります。

それでは、1ページをご覧ください。施策の展開の目標一つ目である「水とみどり」を守るの施策でございます。

まる①の表が、その指標になります。太枠で囲われた部分が平成26年度の計画と実績値です。1番目の保存樹木の指定本数ですが、平成26年度 計画2, 170本に対し、実績2, 076本となり、評価は△とさせていただきます。

なお、評価の○、△、×は、計画値に対する、達成率を表しておりまして、評価方法につきましては、平成26年度の計画値に対する実績値の割合で、○は100%以上、△は50%以上達成、×は50%以下としております。

保存樹木につきましては、最近はお家の庭をなくして駐車場や子世代の住居を建てられることが多くなっておりまして、なかなか増えないのが現状です。

次に、森林整備事業による間伐面積ですが、計画260haに対し実績が93haとなっており、これは、国の補助金の動向として、切捨て間伐の補助が削減され、搬出間伐の補助を増やすという傾向にありまして、ただ、搬出間伐はやればやるほど赤字になるということで、事業者が行いにくいということが一つの要因となっております。

次のハリヨ・ホテルの生息箇所数ですが、23箇所となり計画値と同数となっております。

次に、公園緑地の充実・維持管理に対する満足度ですが、これは市民アンケートにおける5段階評価のうち「満足」、「やや満足」を合わせたものを割合にしたものとなっております、実績値は28.5%となっております。

続きまして、行動計画の実績について、②「水とみどり」を守る 個別行動計画及び実績の表で説明します。まず、個別目標1-1「水辺環境と地下水の保全」の実績としまして右から2番目に実績を載せておりますが、主なものをご説明します。

河川、水路、ため池、沼などの保全・創出として、曾根川、江西川、杭瀬川におきまして、環境に配慮した整備を行いました。（曾根川：植生ブロック、江西川：布団かご、杭瀬川：旧河道の保全）また、上石津におきまして太平洋工業の皆様が主体となり、ビオトープの維持管理を行っております。健全な生態系の回復として、揖斐川や杭瀬川などで小学校が中心となり、カワゲラウォッチングによる河川環境調査を行いました。

また、水源かん養のための樹林地、農地の保全として、東中学校において透水性舗装や緑化ブロックの整備、開発行為に対する指導を実施してまいりました。

次に、個別目標1-2「樹林樹木の保全」の実績としまして、緑保全地区、保存樹木の維持向上に補助金制度を活用して、努めておりますが、昨年の2,069本に対し、2,076本とやや増えたものの、伸び悩んでいるというところ です。

2ページをご覧ください。まる①の施策の指標は先ほどと同じです。②の個別行動計画及び実績のほうをご説明します。個別目標1-3「農地の保全」の実績としまして、上石津におきまして一般の方に利用いただける、かがやき農業塾を実施し、26組の参加者がありました。（野菜などの作付け講習会）

また、市民菜園が184人、高齢者健康農園は180人の利用があり、南一色ふれあい農園については、応募者多数により抽選が行われるなど、市民の農業への関心が高いことがうかがい知ることができます。

次に個別目標1-4「森林地域の保全」の実績としまして、企業の森活動で太平洋工業が緑の村周辺に広葉樹を、西濃運輸グループが多良峡にモミジの植樹をされております。また、緑の少年団では、多良峡もみじ少年団が日頃の活動を評価され、みどりの奨励賞を受賞しました。

3ページをご覧ください。施策展開の目標の二つ目である「水とみどり」をつくるの施策でございます。まる①の表がその指標になります。一番目の市民一人当たりの都市公園面積につきましては、新たに2箇所の公園を整備しましたが、計画6.4㎡に対し6.0㎡と及びませんでした。

また、「みどり」のネットワーク距離数ですが、サクラ並木の整備を行いました。計画9.7kmに対し、実績9.8kmとわずかに及びませんでした。また、上から6番目、7番目の公共公益施設と民間施設の緑化率ですが、どちらも計画値を達成することができませんでした。今後も開発指導などを通じて、緑化率の向上に努めてまいります。

個別目標2-1公園緑地の設置、機能更新をご覧ください。26年度実績として、玉池公園、むろみ公園、切石公園、昼飯公園、和合公園の整備を行い、また、9の公園で遊具の更新を行いました。また、新たな公園として昼飯東公園と中川公園の整備に向けて計画を策定したところでございます。

議事録内容 (4/9)

個別目標2-2「水とみどり」のネットワークをご覧ください。26年度実績として、杭瀬川堤に誕生記念植樹やだいしんグリーン財団による植樹により375本のサクラを植樹するなど、前年度と比較して、ネットワークの合計で1.5kmの増の96.8kmとなっております。

4ページをご覧ください。引き続き「水とみどり」をつくるの施策でございます。

まる②の個別目標2-3公共施設の緑化をご覧ください。26年度実績として、ハナミズキ通りに78本の補植を行いました。また、四季の里におきましては、赤坂スポーツ公園のフジの咲きが芳しくないことから、フジの再生整備に取り組んでいるところでございます。

個別目標2-4民間施設の緑化をご覧ください。26年度実績として、開発行為の緑化を35件、生垣設置補助金につきましては4件、花かざり補助金では12件の申請がございました。

5ページをご覧ください。施策展開の目標の三つ目である「水とみどり」を活かすの施策でございます。

まる①の表がその指標となります。農業体験等の参加者数、ペレット・マキの生産量につきましては、計画を上回っております。ペレットにつきましては、主にかみいしづの宿泊施設、奥養老のボイラーの燃料として使用されていますが、需要が多く、生産が追いついていない状況でございます。3番目の環境配慮事業所数ですが、これはIS014001やエコアクション21の取得事業所などの総数ですが、計画118に対して、94と下回りました。これは、IS014001事業所数が年々減少していることが要因の一つと考えられます。IS0を継続するには外部業者への委託経費が必要であるため、自社基準で目標を立てて運営されるところが多くなっているものです。

続きまして、まる②の表 個別行動計画の実績について、主なものを説明します。

個別目標3-1里地里山活動の場としての活用をご覧ください。26年度実績として、緑の村などの自然体験や、環境市民会議主催の親子体験教室などに1403人のご参加をいただきました。関係各所が様々な教室や講座を展開しており、親子やグループで参加しやすいことが増加の要因になっていると考えられます。

個別目標3-2「みどり」の資源活用をご覧ください。間伐材の活用では、公園遊具などでの間伐材の使用、木の駅プロジェクトによる間伐材の収集・出荷などを行いました。そのほか、資源活用として、イベントにおきまして、樹木チップの配布を行ったり、ペレットストーブやペレットボイラーを活用いたしております。

6ページをご覧ください。施策展開の目標の4つ目である「水とみどり」を学び、広めるの施策でございます。

まる①の表がその指標になります。「みどり」のボランティア参加人数ですが、これは各企業様ですとか市民団体の方に植樹いただいた参加者の合計ですが、26年度はだいしんグリーン財団によって多数の参加をいただき、実績数が大きく上回っております。

次のプレパークでございますが、実施箇所数につきましては、財源不足のため増やすことができませんでした。しかしながら、参加人数につきましては大垣公園をはじめ多くの方が参加いただき、人気があることが伺い知ることができます。

次の公園緑地の管理運営団体数ですが、団体の高齢化により活動できないといったことにより、昨年より2団体が減少し、計画を下回りました。

次の「みどり」の情報を提供するHPへのアクセス数でございますが、計画を大きく上回りました。この要因は何であるのか、どのページのアクセスが多いのか調べようと試みましたが、システム上不可能であるとのことで、要因を特定できておりません。おそらくは、四季の花の最新情報を逐一更新しておりますので、そちらを見られているのではないかと思います。次の緑化・花づくりの地域リーダー数ですが、これは樹木医やグリーンドクターなどの人数ですが、昨年1名登録されましたが、なかなか伸びないのが現状です。

次のイベントプログラム数は計画通り開催することができました。また、観光客数につきましても計画を上回っております。

続きまして、まる②の表個別目標4-1情報の収集・発信について、主なものをご説明します。26年度実績としまして、「みどり」の啓発を目的とした四季の里まつりを開催するとともに、ホームページでの発信やメディアへの積極的な情報提供により、最近ではテレビでも放映いただく機会が増えました。

7ページをご覧ください。引き続き「水とみどり」を学び広めるの施策でございます。個別目標4-2市民協働による緑化活動の促進をご覧ください。26年度実績として、公園整備でのワークショップの開催、プレパークの実施、また、22年度から導入しました四季の回廊への記念植樹ですが、誕生記念樹申し込み数809件のうち約3割の方が申し込まれました。

8ページをご覧ください。引き続き「水とみどり」を学び広めるの施策でございます。個別目標4-3教育の場の提供と利用をご覧ください。26年度実績としてプレパークを大垣公園のほか、江東公園や赤坂スポーツ公園などに出張プレパークを行い、計8箇所実施いたしまして、大変多くの子供たちに遊びのプログラムを提供いたしました。

個別目標4-4行動のための仕組みづくりにおきましては、緑化基金の創設へ向けた検討を行っております。これは、

議事録内容 (5/9)

「みどり」の保全・推進のための財源として、市民や事業者様からの募金や寄附金などを充てられるような仕組みづくりを模索するもので、今後も引き続き検討してまいりたいと思います。

以上が、平成26年度みどりの行動計画実績及び評価報告となります。

【坂委員】

駅前通りでケヤキの木が切られた件について、県道ではあるが、都市の緑化として県との連携はできているのか。また新たに作られた県道には緑地帯が確保されたが緑化が行われていない。その点に対し、審議会の意見は県へ反映できるのか。

【事務局：長谷川主幹】

市として駅前通りの成長した樹木を伐採することに対しては賛成いたしかねる。しかし県としては樹木がアーケードに支障が出ること、上下水道管に根が侵入すること、県道が整備され緑地帯があるが樹木の値上がり等で植樹ができないと聞いているが、引き続き緑化の要望をしていきたい。

【事務局：高橋課長】

平成24、25年に整備された大垣一宮線についても、継続的に緑化の要望していく。

【事務局：田中部長】

駅前通りの樹木について、昔から緑化には力を入れている。アーケードの上まで樹木が伸びているが手入れがされていなかったのが現状。今後も県へは剪定を強く要望していくが、どうにもならない場合に伐採というのは致し方ないと思う。市のシンボルでもある樹木が協議や整備もされずに伐採されるのは大変残念である。駅前通りは市民が多く集う場所として整備を行ってきたが、郊外路線については仕方がなくも、大通りについては今後も緑化の整備について強く要望をしていく。

【森会長】

市民から葉っぱが落ちるとい苦情がある件については？

【事務局：田中部長】

確かにあるが、毎年しっかりと剪定等維持管理をすればなくなる。

【森会長】

東京都府中市には、立派なけやき通りがあり、市民と一体となって管理している所もある。そういった街の取り組み情報も参考に整備していくのも一つではないか。

【社本委員】

赤坂スポーツ公園の藤が現在大変残念な状態となっているが原因は？

【事務局：長谷川主幹】

一昨年、有識者に調査を依頼したところ、第一に周りに生えているメタセコイアによる日照不足が一つの原因であるため、昨年伐採を行った。第二に周りに換水装置が無く自然に任せていたことによる水不足。こちらも昨年度に整備を行った。第三には栄養不足。こちらもメタセコイアが大きな原因として上がっている。かなり大きな樹木であるため、そちらに栄養が偏ってしまっていたため、伐採を行った。

【社本委員】

観光としても大きな拠点であるため、1日でも早い回復を。

【園枝委員】

ホームページのアクセス数増加やプレパークへの来場者数増加に対し、努力の結果と思われる。今後も引き続きお願いしたい。

はなみずき通りの捕食について、幼虫害被害について何か原因が分かれば教えていただきたい。

議事録内容 (6/9)

生垣補助金については予定が10件に対し4件というのは少ないのでは？

市民農園については9件との報告だが、もっと要望はないのか？

駅北オーミケンシ工場跡地のヒマラヤ杉はJRから見るととてもすばらしい景観であったが伐採されてしまい残念。寄贈いただけるものと考えていた。

【事務局：長谷川主幹】

はなみずき通りは整備し20年余経つが、3分の1が捕食。原因を調べるも特定ができていない。

生垣補助金については、広報等PRを行っているが、伸び悩んでいる。現在の住宅形態に対し流行っていない。一昨年に条例改正なども行い条件を緩和しているが、今後も引き続きPR行っていきたい。

市民農園については、所管が農林課のため詳しい説明は割愛させていただきたい。

オーミケンシのヒマラヤ杉については、なかなか行政の手の及ばない中で、アピタ東側にあるクスノキ2本については、企業側と協議しながら1本1本双方にて管理を行っている。

【坂委員】

保存樹木の指定本数について、期限が100年単位なのか。もしくは30～40年単位の条件なのか分からないが、合併前には3～4千本近くあったのでは？

【事務局：長谷川主幹】

確かに過去に3千本近くはあったが、5年更新で協定を結んでいる中、減ってきているのが現状。上石津地区については、保存樹木の指定地域には入っておらず、都市部のみとなっている。

【安田委員】

駅前の樹木に対して植替えには相当の予算がかかるため、剪定で対応している。新規の緑地帯が放置されているのも予算の関係。

県の道路維持課としては、小コスト管理できる植栽として、防水シートを使用する方法や界面活性剤を使用し、雨水を地下深くに浸透させて枯れを防止するなどと言った方法で実験している。また街路樹や公園等の樹木を管理している中で、最近では民地へ越境している樹木に対しての苦情ではなく、必要がないとの意見が増えている。市民総出での緑化運動が必要なのではないか？

【森会長】

次年度への計画方針につながるが、みどりの行動計画実績(P1)の森林整備事業による間伐面積の実績がバツとなって29年度には650(ha)と目標が高いが本当にできるのか。逆に「みどり」のボランティア参加人数(P6)については26年度の実績がよかったが、29年度の目標値が550(人)と下がっていることに対し、実績に対しての目標値の設定がこれでいいのか？また、実現に向けてのシナリオはあるのか？

【事務局：長谷川主幹】

29年度目標と言うのは平成25年3月に改定しており、目標設定値については修正が可能であるが、5年後の29年度に修正させていただく。達成できているものについては現状維持を。評価が達成できていないものについては、改善を検討している。

【森会長】

環境衛生課担当の昨年度大垣で開催された湧水保全フォーラム全国大会について、リーダー数を増やすという意味で、水と緑を学び広める全国規模の取り組みとして、大垣市としても、水と緑の事業にもマッチングしている内容かと思う。

しかしながら、資料の中に記載されていないのはいかなるものかと思う中で、一時的にでも大垣が全国から注目されている都市として活性化してきているため、今後の展開をどのように考えているのかも協議していただきたい。

【事務局：長谷川主幹】

環境衛生課と協議していく。

議事録内容 (7/9)

【森会長】

続きまして、審議事項でございますが、本日は1件の議案がございます。

それでは、第1号議案といたしまして、「平成27年度みどりの行動計画（案）について」を議題とします。

事務局から説明をお願いいたします。□

【事務局：長谷川主幹】

資料3をご覧ください。第1号議案 平成27年度みどりの行動計画（案）について、ご説明させていただきます。

1ページをご覧ください。「水とみどり」を守る の施策でございます。まる①の指標の太枠で囲われたものが平成27年度の計画値でございます。みどりの基本計画に挙げられております29年度目標値に向けて、26年度実績を踏まえ、設定をさせていただきました。

続きまして、②の表の個別行動計画ですが、主だった事項を説明いたします。個別目標1-1「水辺環境と地下水の保全」の27年度具体策としまして、曾根川また杭瀬川における環境配慮型の河川整備の実施、また、河川環境調査の実施、また、公共施設では透水性舗装を整備してまいります。

次の個別目標1-2「樹林樹木の保全」では、緑保全地区・保存樹木数を維持向上に努力してまいります。

2ページをご覧ください。引き続き「水とみどり」を守る の施策でございます。個別目標1-3農地の保全の27年度具体策としまして、農業振興地域農用地区域を維持していくとともに、かがやき農業塾や市民菜園などにより、農地を活用してまいります。

個別目標1-4「森林地域の保全」では、荒廃した森林を守るため、間伐を推進するとともに、企業の森活動などを通じて広葉樹林の整備を進めてまいります。

3ページをご覧ください。「水とみどり」をつくる の施策でございます。まる①の表の指標の目標値は先ほどと同様、29年度の目標値を達成するための計画目標値を設定させていただきました。②の表の個別行動計画ですが、主だった事項を説明いたします。

個別目標2-1「公園緑地の設置機能更新」の27年度具体策としまして、むろみ公園、和合公園、昼飯東公園、中川公園を整備いたします。

個別目標2-2「水とみどりのネットワーク」の27年度具体策としまして、桜並木で繋ぐ四季の回廊「千本夢桜」事業の一部として、昨年度に引き続き、大島堤・杭瀬川堤にサクラの植樹を実施いたします。

4ページをご覧ください。引き続き「水とみどり」をつくるの施策でございます。個別目標2-3「公共施設の緑化」では、街路樹等の整備、公園整備に加え、四季の里の充実に努めます。

個別目標2-4「民間施設の緑化」では、開発に伴います緑化の指導を行うとともに、生垣設置補助制度や花かざり補助金の啓発・運用を行ってまいります。

5ページをご覧ください。「水とみどり」を活かすの施策でございます。まる②の表の個別行動計画ですが、主だった事項を説明いたします。個別目標3-1「里地里山活動の場としての活用」の27年度具体策としまして、緑の村公園や多良峡森林公園を活かし、自然体験など学習の場を設けてまいります。個別目標3-2「みどりの資源活用」では、木の駅プロジェクトを引き続き実施し、間伐材をペレットやマキとして有効利用してまいります。

6ページをご覧ください。「水とみどり」を学び、広める の施策でございます。まる②の表の個別行動計画ですが、主だった事項といたしまして、個別目標4-1「情報の収集・発信」では、広報やインターネットのみならず、昨年に引き続きフリーペーパー等を積極的に活用し、「水とみどり」に関する情報提供に努めてまいります。個別目標4-2「市民協働による緑化活動の促進」の27年度具体策といたしまして、27年度に整備します公園について、ワークショップを実施することで、計画段階から地域住民に関心をもって頂くことにより、完成後の管理運営も積極的に行われることを期待するものでございます。

7ページをご覧ください。個別目標4-3「教育の場の提供と利用」の27年度具体策といたしまして、子育て支援に資するプログラムの実施として、大垣公園におきまして、プレーパークを行うとともに、他の公園に出張プレーパークを行い、さらなる拡充に努めてまいります。個別目標4-4「行動のための仕組みづくり」では、「みどり」の環境づくりを整えるため、緑化基金の創設に向けて検討をしてまいります。

以上が、平成27年度みどりの行動計画（案）となります。□

【森会長】

ただいま、事務局から説明がございましたが、何かご意見、ご質問がございましたら、ご発言願います。

議事録内容 (8/9)

【森会長】

健全な生態系の回復について、ハリヨや蛍の生息できる環境としてまとめて23箇所となっているが、詳細を分けて記入してもらいたい。

【事務局:長谷川主幹】

備考欄に詳細を記入し、後日訂正資料として配布させていただく。

【國枝委員】

緑が増えれば維持管理に問題が出てくるが、大島堤の桜並木の管理について、増えすぎて日照があまりできておらず、細かい枝が増えているため、今後は技術面での管理を検討できないのか? 街路樹に対しても専門的な人に相談をしていただくなどしたほうがよいのではないか。

【事務局:長谷川主幹】

市として維持管理に対しては予算や樹木に対しての市民感情などもあり大変苦労している。維持管理に対しては今後、委員会や専門の有識者を踏まえて行っていきたい。

【國枝委員】

とくに桜の木を重点として。

【事務局:長谷川主幹】

ソメイヨシノは寿命が60年と言われている。(ほとんどがクローンであるため) 墨俣の桜については大半がソメイヨシノであるが、一級河川でもあり、園芸での対応しできていないが、専門の方に相談している。

【事務局:高橋課長】

桜の木の寿命が近づいている。桜の木については植え替えが出来ないため園芸でつなぎ、延命している状態。

【森会長】

合併により緑は大変増えたが、量より質を重視していただきたい。早め早めの対応をお願いしたい。
また今後どのように管理していくのかをメニュー作りしながら予算化してもらいたい。落ち葉の問題に対しても、市民へ緑化運動を進めながら、苦情対応への認識なども行っていく必要がある。

【坂委員】

建築士として景観に力を入れているが、地域らしさがなくなっている。駅の南側は生垣の似合う景観であるが、なかなか守られていない中で、景観条例の中に生垣増進を取り入れていくなどのメニューはできないのか?
また景観条例は街の中の方が多いが、水防のためのマキノキの生垣というのは昔からある景観でもあり、緑化審議会の中だけでなく景観条例にも入れなければいけないのかと思う。

【事務局:田中部長】

時代や法律が変わっていく中、できれば制度の見直しも検討する部分はまだまだある。

【内木委員】

みどりの基本計画の中で、水と緑を守るというフレーズが多く出る中、水という単語がなかなか出てこない。もう少しあってもいいのでは。

【國枝委員】

花作りや花壇などのような表彰を取り入れてみると、市民がもう少し積極的になれるのではないか。

議事録内容 (9/9)

【坂委員】

その意見に賛成です。生垣などで表彰規定があつて、作品がすばらしいなどと表彰することで、緑のカーテンなどのように市民の方がさらに促進できるのではないかと。

【事務局：田中部長】

十分に検討できる余地があると思うので、検討していきます。

【安田委員】

堆肥ステーション設置について、どのように検討しているのか？

【事務局：長谷川主幹】

具体的にはまだ検討できていないが、樹木チップを配布していくような考えではいる。ただし場所の選定はできていない。場所によっては不法投棄の場所にもなってしまうため、よく検討していきたい。

【森会長】

よろしいでしょうか。その他ご意見、ご質問などございましたら、ご発言願います。

これをもちまして、本日の審議会に付議されました議案の審議はすべて終了いたしました。では、事務局にお返しします。

【事務局：田中部長】

皆様方におかれましては、長時間にわたり、慎重審議を賜り、また、貴重なご意見を頂戴いたしました。

本日のご意見を、本年度の「みどりの行動計画」に反映させ、緑化施策を進めてまいりたいと存じますので、今後とも、ご指導、ご協力を賜りますよう、お願い申しあげ、終わりの挨拶とさせていただきます。

長時間にわたり、ありがとうございました。